



■ **オルタの家は対話と信頼から始まる**
 オルタスクエアの家づくりは設計士との話し合いから始まりますので、プランの型や仕上げ仕様に決まりがありません。お客様の要望、暮らし方、将来への展望など、そのご家庭の諸事情を伺いながら、敷地に合わせて間取りを考えていくことを基本的なスタンスとしているからです。
 これは生活クラブが食材に対して根幹に据える「安心・安全」と同じ概念によるものです。国産材の産地提携、木材の管理・流通、木造在来工法への信頼・大工の技術研鑽といった建設面の安心・安全を徹底して確認していくこと。そして同様に大切にしているのが、生活を左右する「間取り」、つまり「設計」内容を高めることなのです。

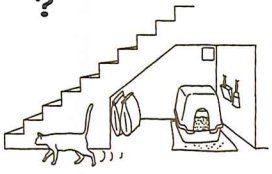
■ **数字であらわしにくい「性能」とは**
 住宅設計には2つの側面があります。一つは数字で現わせる「性能」、もう一つは数字ではあらわしにくい「雰囲気・感覚」です。高い断熱性能、気密性能、あるいは耐震等級などの数値「性能」を達成するならば簡単なことです。

しかし、もう一つの「雰囲気・感覚」は、住まう人の人柄や生活スタイルがプランニングに反映されないと実現しません。これからの暮らしをしたいのかを設計士がしっかりと汲み取り、その上での高い提案力がある初めて魅力的な住まいが実現します。同じ住まいの「性能」でも、こちらは数値であらわしにくいものなのです。

■ **一緒に考えていく「設計」という作業**

「設計」とは、文字通り「はかかってしつらえる」こと、対話を通して一緒に考え、様々な状況から物事を選択していく作業です。土地の魅力を引き出す配置、自然風や冬の日差しを上手に取り入れる断面設計、庭を眺める窓辺の居場所。楽しく家事ができる間取り。いずれも経験豊かな設計のチカラで実現できるのです。

ぜひ一緒に、家づくりを始めませんか？



断熱効果の高い木製サッシ



左官仕上の外壁と深い軒



設備も素材も自由に組み合わせられます



薬剤無処理の栗の枕木にビー玉を埋込む



ドイツ漆喰の外壁

スタイルにきまりはありません
 様々な素材・間取りを実現



リビングよりガレージを通して外を眺める



対話によって生まれた新しいスタイル。室内化された大きなガレージは、雨の降らない外部。巨大な玄関土間として活躍します。



廊下を利用した見下ろしのワークスペース



マンションリフォームにも提案力と自然素材!

🍏ワンフロアなのでバリアフリーが実現しやすいマンション。そんなマンションの安心感や利便性に、自然素材の安らぎを取り入れるためのリフォームが、組合員の間では人気です。それに設計の工夫でさらに使いやすいつ住空間を実現することができます。例えば……

■引き戸の使い勝手のよさを、マンションでも取り入れられる?
廊下にトイレや洗面室のドアが開いて、通路の邪魔になっていませんか? また、開口を測って家具を買ったのに、部屋に入らなかつた経験はないですか? ドアは開いた時にドア厚+クリアランス分、開口幅を狭くします。引き戸なら開口幅を狭くせず、通路の邪魔にもなりません。車椅子を使用する際にも有利です。同時に床工事をすれば、廊下との段差を解消できます。

■対面キッチンに間取り変更は可能?
上下水と換気の配管ルートの検討が必要ですが、いろいろな設計方法がありますので是非、ご相談ください。

■玄関を広くしたいんだけど……
壁付け収納が玄関スペースを狭くしている状況を改善したりリフォームです。

■戸建てのウッドデッキに憧れます

扉を引き戸に変え、トイレに入りやすく、使い勝手が良くなりました。

廊下の床工事を同時におこない、段差も解消でき、バリアフリーになりました。

廊下床：ナラ材
(都筑区C邸)



リフォーム前
ドアだと車椅子ではトイレに入りづらい

壁・天井：漆喰塗り
(お施主さんが仲間とDIY)

床は杉無垢板張り
(町田市F邸)



リフォーム前
ダイニングから独立した壁付けキッチンでした

玄関収納を、壁の中に収め、玄関を広くしました。

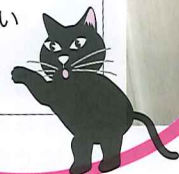
靴の脱ぎ履きの際に便利なベンチも設置。荷物の一時置きにもなります。

(都筑区C邸)



玄関が狭いと車椅子を使うのにも苦労します…

狭いと壁に手をつけて靴を脱ぎ履きしちゃうがち



リフォーム前

壁・天井は漆喰塗り
お施主さんが仲間とDIY

床は杉無垢板張り

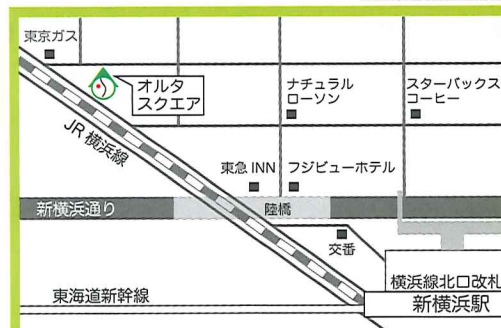
ベランダは高耐候性木材で作ったスノコ

戸建てのように、ベランダとリビングがつながり、夢のひろがる空間に。

(町田市F邸)



リフォーム前
壁はビニールクロス
床は合板材でした



*JR 横浜線の線路沿いです



http://www.a-sq.co.jp/

生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手

〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-8-4オルトナティブ生活館1F
電話：045(476)1105 (日曜・祭日休)
FAX：045(476)1106
mail：info@a-sq.co.jp
(ご相談はメールでも受付けています!)

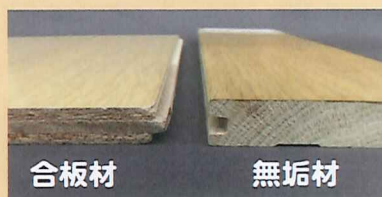
👑 私たちオルトスクエア株式会社は 1998年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

オルタスクエアが無垢床材をおすすめする理由

- 有害化学物質のリスクを減らせます。
- 梅雨時・夏は空気中の水分を吸収するため体感温度が下がります。冬は水分を放出するため、加湿器を使わなくても喉を痛めない住空間を実現できます。(1㎡あたり300ml前後の水分を調湿)
- 足触りが心地いい。
- 床暖房に使える無垢床材もあります。
- スギは温かみがあり、ヒノキは色も香りもよい、広葉樹のナラなどは木目がきれいです。

合板床材と無垢床材の違い

「合板床材」は薄い板を接着剤で張り合わせ樹脂でコーティングしたものであるのに対し、「無垢床材」は、自然のままの木材です。



合板材

無垢材

使いやすい設計十自然素材中心にも体にも優しいナチュラルリフォーム（小田原市H邸）

● 小田原市にお住まいのHさんご家族。
2007年の秋に、2階洋室のクロスをオルタでエコクロスに張替えたことをキッカケに、その後、お家の様々な箇所のリフォームをさせていただきました。工事が完成するごとに、自然素材の質感が広がることも、とっても使い勝手のよいお家になっていきました。今回、そのH邸を訪ねさせていただきました。

■ **バリアフリーの玄関**
ご主人のお父様が不自由なく利用できるように、框（かまち）の段差を解消する踏み台（ナラ材）と靴を脱いだり履いたりするためのベンチ（スギ材）を設置。床と階段はナラ無垢材。壁はエコクロス。玄関収納の面材もナラの突き板です。



自然素材の編み籠とよく調和

■ **青森ヒバの洗面室・トイレ**
「洗面室とトイレの床を青森ヒバにしていたらとてもよかったです。ビニールの床の時には冬は足が冷たかったのが、今は冬は暖かく、夏は涼しく、素足が気持ちいいです。」



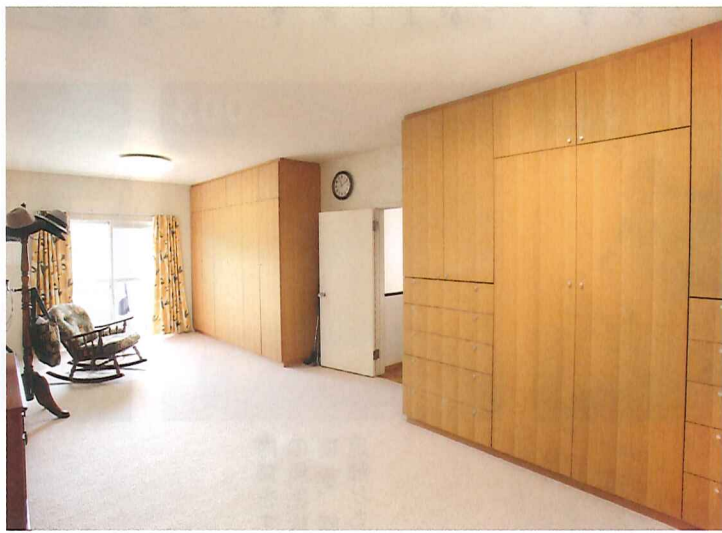
■ **広くなったキッチン**
「昔は台所が狭かったのがリフォームで広くなりました。時々息子家族が遊びに来ますが、いつもお嫁さんからこのキッチンは羨ましがられます。」



■ **土壁・珪藻土で夏涼しい和室に**
「以前、この和室は湿気がこもりやすい部屋でした。義父に気持ちよく住んでもらうために珪藻土を塗ってもらったところとても快適な部屋になりました。今は夏になると私たちがこの和室を寝室にします。夏、とても涼しいのです。」

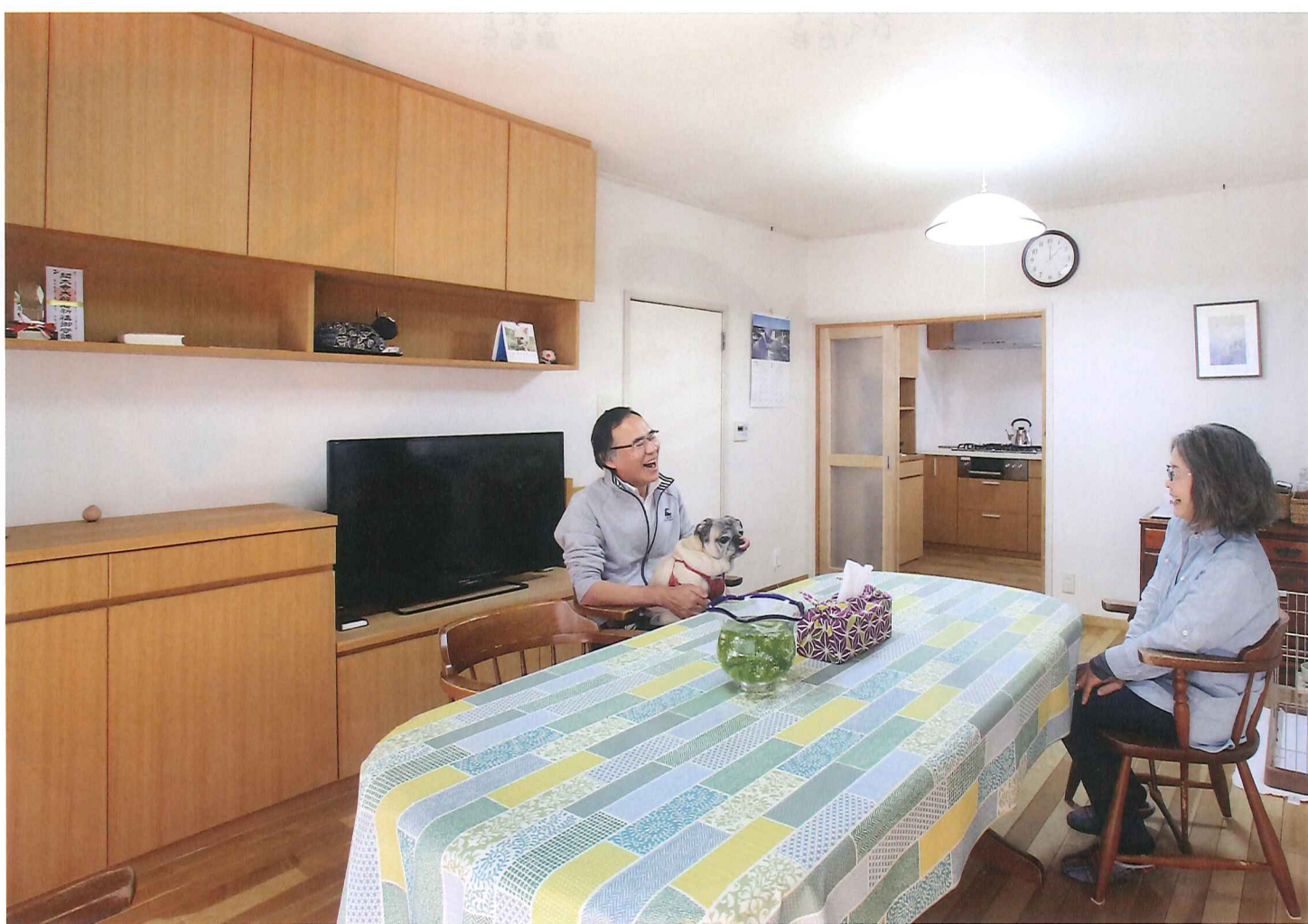


■ **収納の悩みを解決した2階洋室**
「この部屋で婚礼堂ダンスを長く使っていたのですが、地震の時の転倒が心配になったのを機に、収納家具をデザインしてもらいました。ひとつは布団を収納するため奥行きを70cmに、もうひとつはクローゼットとして奥行き60cmにしてもらっています。収納量が多いので衣替えで衣料をしまうのに重宝しています。」収納家具はナラ突き板仕上げ。壁はエコクロス。床はウールカーペット。

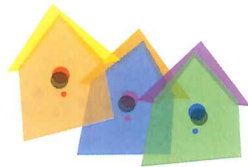


■ **夏涼しく冬暖かい無垢床材十床暖房のリビング**
床はナラ無垢材に床暖房が入っています。リビングとキッチンを仕切る3枚引き戸が、暖かさ・涼しさを調整するのに活躍しているそうです。

リビングでくつろぐご夫妻。ご主人に抱っこされているのは、フラムちゃん（♀9歳）



★他にも、屋根に塗ったセラミック断熱塗料「ガイナ」や、高耐久木材でつくったウッドデッキやバルコニーなど、紹介したいところですが、それはまた別の機会に。



不燃化推進地域で実現した木と漆喰の住まい

子どものびのびスキップフロアの家「南区W邸」
 敷地面積 97.50㎡ (29.50坪) 延床面積 83.04㎡ (25.12坪)



子どもさんが自由に駆け回れるお家を実現したくて、土地探しからオルタスクエアにご相談いただいたWさんご家族。昨年9月に竣工してから一冬を越されたW邸を訪問しました。

■新築前はマンションにお住まいでしたね？

奥様「マンションに7年住んでいました。子どもが生まれる前で、二人とも仕事をしていたので、利便性優先で。一昨年の夏に友だちの戸建ての家に遊びに行ったときに、子どもたちがぎやかに駆け回っているのが楽しそうで、「我が家ではこのようにかけまわれないなあ。今の育ち盛りの時期、一番住まい環境が大事だなあ」と思ったのが、新築を考えるきっかけでした。」
 ご主人「見学会に参加して、建物の形が毎回違っており土地とか条件にあわせてつくっているの



だということがわかりました。ロフトがあると「子どものおもちゃをしまうのにいいな」とか、家ごとに発見がありました。」

■どのような設計要望を出されましたか？

家事の動線で、浴室と洗濯干し場とベランダをぜひ同じ階で近くにしたいとお願いしました。洋服は一つのクローゼットにすべてしまえるように。キッチンには家族みんなで料理ができるようにアイランド型を希望しました。それからこの大きなホワイトボードですね。

■昨年9月からの住み心地はどうですか？

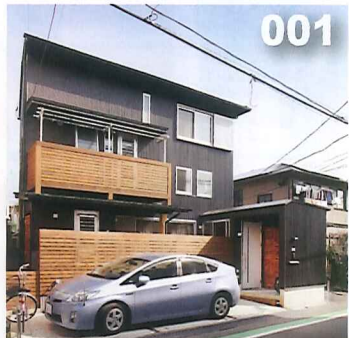
窓が大きくて数も多く、室内が明るくて、とてもうれしかったです。埃もあまり気にならなくなりました。子ども（男の子7歳）の友だちがよく来て楽しそうに遊んでいます。私の友だちもたくさん遊びに来て、「お料理教室ができるね！」と言われました。

冬はマンションよりは寒くなるかと覚悟していましたが、思ったよりずっと暖かかったです。床暖房を洗面所にも入れておいて正解でした。自然の木は素足が気持ちいいです。

2階の寝室は杉の木が暖かく、床から天井まですべて杉にしてもらって良かったです。玄関の掃き出し窓から、小さな庭のカエデやデッキが見えるところも気に入っています。



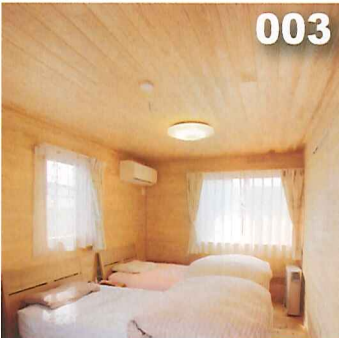
家族の夢があふれる住まい



「木のフェンスは、道を通る人の視線が全然気になりません」。W邸には玄関と勝手口、両方を具えました



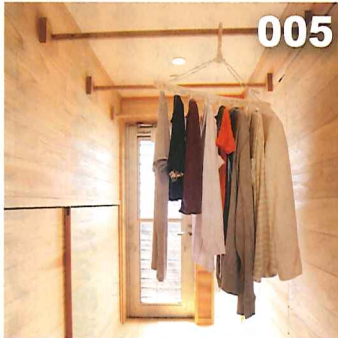
玄関を入ると出迎えてくれる窓から見える庭のカエデ



内装をすべて杉の無垢板にした寝室。暖かく、足触りも優しい



アイランドカウンスターのシンク位置は、奥様のお仕事経験が活かされた配置です。



浴室・洗面室にとつながる2階室内干しスペース。南向きベランダからの取り込みスペースにもなります



家族が集うLDKの内装は、漆喰と無垢材